

Column

環境コラム

今月のコラムニスト

●松田 雅央 (まつだ まさひろ)

1966年盛岡生まれ。カールスルーエ市在住ジャーナリスト。1992年東京都立大学工学研究科大学院修了、1995年渡独。趣味はサイクリング。自然豊かな農村地帯を走る爽快さが好き。<http://www.umwelt.jp/>

収益事業、それともPR? ～再生可能エネルギーの目的意識～

昨年12月、日本の自治体関係者と一緒にカールスルーエ市の「エネルギーの丘」を見学しました。ここは市民出資の会社が地元エネルギー水道公社の協力を得て、風力発電、ソーラー発電、ゴミから発生するメタンガスを使ったコジェネレーション(写真)を行う複合エコプロジェクトです。生産したエコ電力はすべて売電し、エコ熱は暖房給湯用に周辺地域へ供給しています。

そこで同行者から次の質問が寄せられました。

「これらは収益事業ですか、それともPRが目的ですか?」

PRとはつまり、事業主が採算を優先せず「これだけ環境保全に貢献しています」という姿勢をアピールする活動のこと。あるいは広く環境啓蒙を目的とした活動も含まれるでしょう。

結論から書くと、このプロジェクトの目的は両方です。年率4%の利息を上乗せして出資金を返却しているのですから収益性は十分。また3,500世帯分の電力供給は、市のエネルギー政策に不可欠な規模です。

CO₂排出削減効果はもちろん、風車は数キロ先からも見る事ができ、市民に環境を考えるきっかけを与えてくれます。また中学校の課外授業に利用されるなど、環境PR効果は大です。

ここでもう少し、再生可能エネルギー開発の意義について考えてみます。

先日、以前取材したことのあるバイオガス施設に連絡を取ったところ、施設が閉鎖されたと聞き少々驚きました。ここは40頭ほどの乳牛を飼う酪農家で、小規模なバイオガス発電(出力35kW)と熱供給を行っていました。ただしバイオガス施設は自前ではなく、地元のエネルギー水道公社が建設したものです。公社が撤退した理由は採算だそうです。

再生可能エネルギーは一般に規模が小さくなるほど収益性が下がります。牛・豚・鶏の糞尿を利用する酪農バイオガスだと発電出力75kWがひとつの目安となり、それ以下は収益性を高める特別な工夫が必要です。このプロジェクトの場合、収益をあげるのが難しいのは初めから分かっていたわけで、元々PR効果を重視していたはずで



(コジェネレーション施設 = 熱と電力を同時に供給するシステム)

それなのに数年で打ち切った背景には「バイオガス施設が珍しい存在でなくなった」という時代の変化があると思います。2011年だけでもバーデン・ヴュルテンベルク州で700基のバイオガス施設が建設されました。公社は「同額の資金を使い環境PRを行うなら、一般化したバイオガスより、もっと話題性のあるプロジェクトに切り替えよう」と判断したのではないのでしょうか。

小水力発電なら、収益性の境界は出力100kW辺りと言われます(本誌2009年10月号参照)。ただし小水力の場合はそれより小規模の発電も積極的に行われ、例えば昔ながらの木製水車を自然保護団体が地域のシンボルとして管理したり、水路に隣接するレストランが観光目的を兼ねて運営することもあります。その他、ソーラー、風力といった各種再生可能エネルギーを組み合わせた農村活性化や観光プロジェクトも増えてきました。

再生可能エネルギーは単に採算性だけで事業の可否を判断するべきものではありません。エネルギー供給と収益性ととどまらず、環境PR、環境啓蒙教育、そして地域活性化まで幅広い波及効果を期待できるのが特徴です。

■「グリーン ホライズンズ」の作成・配信は

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

ホームページアドレス <http://www.damj.co.jp/>

お問い合わせ先 0120-442-785

(受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報および著者個人の見解を含む第三者コメントをもとにドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成しておりますが、内容の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。また、これらは当社の運用方針、投資判断とは一切関係ありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データや見通し等は記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として記載したものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。